

2022年
2月3日(木)

第1例会

第 2801 回

No.59-23

本庄ロータリークラブ週報

クラブテーマ MORE INTEGRITY ~より一層の高潔性を~

会長の時間

平和と紛争予防・紛争解決月間

2

皆さんこんにちは、2月は「平和と紛争予防・紛争解決」月間です。

今から75年前、日本は戦争に敗れ、GHQ、そして、ダグラス・マッカーサー元帥に統治されました。それと同時に各地には暴力団が増えました。それを収める一端を担ったのがJC(青年会議所)です。そして、そのJCが日本に誕生したきっかけとなったのが世界三大市民運動の一つ本庄事件です。

昭和23年、本庄町警察署長と本庄町議長、そして暴力団が癒着、それを朝日新聞の記者がスッパ抜いたのが本庄事件の始まりです。記者は、暴力団に脅され、二進も三進もいかない時に地元の若者が自分達の町を良くしたいとの熱い思いで記者を支援、暴力団と戦い、本庄西小学校に町民1万人を集めて町民大会の開催。当時本庄町の住民は2万4千人、町民の4割が集まった大会が開催されました。

そして、暴力団の排除が行われました。この事件に関わったGHQの一人が、本国にJCという若者の団体があるから日本に持ち込めばとの意見があり、翌年昭和24年9月3日、GHQの本部(第一生命ビル)にて東京青年会議の設立総会が開催され、戦後の復興活動を目指してJCの火が灯されたのです。

東京青年会議ですがミツワ石鹸の三輪さんを中心に48名でスタートし、全国700以上の青年会議所が誕生。JCの綱領は「明るい豊かな社会を築き上げよう」明るい社会とは、暴力団を排除して、豊かな社会をつくらうのですが、今では「まちづくり」を目的に活動されていると思います。

本庄事件で、記者を支援した中心的人物が片貝光次さん達で、私が青年会議所時代に生き証人である片貝光次さんに例会で当時のお話を講演頂きました。講演では、当時本庄町に11の暴力団があり、高崎線で1等車に乗るのには暴力団を通さなければチケットが買えなかったそうです。町は暴力団が全て支配していたそうです。それを片貝さん達が排除に尽力したお話を聞きました。また、この事件は、「ペン偽らず本庄事件」刊行され昭和25年に『暴力の街』映画化されました。この映画は大変貴重な映画で、日本映画演劇労働組合と日本映画人同盟と共産で製作。本来は自分が属している

SERVE TO
CHANGE LIVES



奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

Rotary



国際ロータリー
第2570地区
2021~2022年度

2021~2022年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ
2021~2022年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー 水村雅啓
地区スローガン **もっと夢をもっと奉仕を**

会 長 金井福則
会長エレクト 佐藤賀則
幹 事 相川浩一

副 会 長 織田裕之
須永秀和
永井保之



金井福則 会長



幹事報告

相川浩一 幹事

- 1 ガバナー月信2月号届いています。
- 2 2/19(日)都市連合会(IM)が4/24(日)に変更となりました。
- 3 地区大会3/27(日)開催。バスが出ますので宜しくお願いします。
- 4 食事のご用意もありますので例会出席のご連絡を必ずお送りください。

会社以外の出演は出来ないのですが、全ての映画会社のトップスターが共演しています(志村喬・宇野重吉・船越英二・池部良・原節子)70年前の映画ですが池部良のスーツ姿は最高です。この映画の製作費は1,500万円、当時では破格の予算で作られました。映画業界も日本をなんとか良くしていきたいとの思いが強かったのだと思います。70年前の本庄市がご覧いただけますので、一度はこの映画をご覧頂ければと思います。

